

日本共産党議員団、区民要望実現に奮闘!

9月11日から10月9日まで港区議会第3回定例会が開かれました。今定例会では2013年度の決算審議も行われました。「区民アンケート」で寄せられた区民の声を国政・区政に生かすため奮闘しました。



要望書を提出する党議員団と港地区委員会

「がけ」「よう壁」の

耐震化助成を

港区には急傾斜地崩壊危険箇所が118カ所。その中で、「地震や大雨により、がけ崩れの恐れがある」と指摘されている安定度の低い急傾斜地が17カ所。にもかかわらず「がけ・よう壁の対策」は、「斜面の改修・保護に努める」というだけです。

がけ崩れを予防するためには大規模な改修が必要で、そのために多額の資金が必要です。港区では「がけ等整備支援事業」として利子の一部補助を行っていますが、実績はゼロです。

区民の生命と財産を守るために、急傾斜地の規模にふさわしい改修工事助成制度を求めましたが、「支援策を調査・研究していく」との答弁です。
引き続き解決策を求めていきます。

特養ホームの増設など164項目

来年度予算要望書提出

9月22日、共産党港区議員団と港地区委員会は、来年度の予算要望書を区長に提出しました。

4月から消費税が8%になり、個人消費が過去最大の落ち込みになっているだけに、区民の生活と暮らし、営業を守るための区の役割が重要です。

特養ホームの増設、幼稚園での3才児保育実施園の拡大、公契約条例の早期制定など164項目の要望を提出しました。



階段の手すりを改修

れました。

昨年7月のバリアフリー基本構想協議会で、視覚障害者から区役所の階段が危険との指摘を受けていたにもかかわらず、区は11カ月以上も放置。共産党議員が6月5日の委員会で取り上げ、続く6月の本会議でも取り上げ、実現したものです。

区役所1階の階段手すりと段鼻(だんばな)が改修されました。

視覚障害者の指摘を受け、共産党議員団が議会で取り上げ、このほど改修さ

区はすべての施設を調査した結果、4カ所で改修が必要なことが明らかになり、一カ所を除き、すでに工事が完了しました。

「集団的自衛権容認の閣議決定撤回を」の請願

日本共産党以外の与党が「継続審議」に

「集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める請願」が、「みなと・9条の会」など3団体から提出され、日本共産党4人全員と1人会派の議員が紹介議員になりました。社民党議員は「行使容認絶対反対」(港区政新聞9月10日付)といいながら紹介議員になりませんでした。

審議が行われた総務委員会では、共産党委員が、前回6月の請願審議時における自民・公明党委員の発言を元に討論を提起しましたが、「いきなり討論するといっても、正確にそういったか、一回記録を見て」などと無責任な態度に終始し、委員長(港政策ク

ラブ)も、「今回の討論は急な話なので私は認められない」などと自由な討論を抑えました。

委員会での討論の事前通告制はなく、言論の府である議会の自由な発言を抑えていくことはあってはならないことです。

「海外で戦争できる国」にさせないために、議会内外での反対世論をさらに広げるために奮闘します。

10月19日現在、意見書を可決した議会は、224議会です。

